

## 中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体				
防災に関する情報発信事業			中保健センター				
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3		
<p>中区地域計画における「地域防災力の向上」をめざし、次のことに取り組む。</p> <p>○災害時、子どものいのちを守るために、子育て世代が備えるべき物品、知っておいてほしい知識、家族や地域で取り組んでほしい内容、感染症の予防などを市民に周知し、防災への意識を高める。</p>	<p>○防災ブック、防災情報をまとめたカラーパネルを活用し、広く防災について啓発する。</p> <p>○防災グッズの展示。実際の防災グッズを揃え、展示を行う。</p> <p>○子育てサークル・サロン、地域のイベント、保健センター事業等において、防災ブックの配布・配架、パネル、グッズの展示を行う。</p>	啓発回数	イベント 4か所 子育て関連教室 9か所 学校およびPTA向け12か所 成人関係教室 2か所 4か月児健診（個別配付）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団での啓発はすべて中止となった。 4か月児健診（個別配付） 妊娠届出面接時（個別配付）	4か月児健診（個別配付）、すべての健診会場でパネルとグッズの展示を実施、妊娠届出面接時（個別配付）		
		冊子およびクリアファイル配布数	冊子 3320冊 クリアファイル 437枚	冊子 980冊 クリアファイル 961枚	冊子 949冊 クリアファイル 865枚		
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性				
○	防災情報などを記載した冊子を配付することにより、区民の日頃からの防災意識を向上し、発災時の被害の減少が期待できる。地域に情報発信を行うことで、その情報を受けた区民からさらに情報が伝達され、より多くの区民に防災情報を伝えることができる。	◎	区内の学校、サークル等と連携することで、防災に取り組む必要性が認識されている。民生委員・児童委員等を通して啓発することで、地域への波及効果が期待できる。	◎	4か月児健診時に、パンフレットを配付し、健診会場にパネルや防災グッズの展示で啓発を行う事で、防災の情報発信はもちろん、保健センターの取り組みを知ってもらえる事もできた。	○	妊娠届出面接時や、4か月児健診時に全員に配付、パネルやグッズを展示することで、より多くの区民に、防災について考えてもらうきっかけになった。
⑤自立発展性	総合評価						
△	地域に幅広く情報発信をし、特に子育て世代に対して防災意識を高め、正確な情報を伝えることを目的としているため、行政が主となって行うことが妥当な事業である。	◎	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域での子育てサークルや学校関係のイベントが中止となり、啓発活動の範囲は狭まったが、パネルや防災グッズの展示などに力を入れた。昨年度に引き続き、情報発信するための冊子の子育て支援課などにも協力してもらい配布し、より広い範囲の区民の方に啓発を行うことができた。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し	4か月児健診での啓発、パンフレットの配布は継続的に行う。すべての乳幼児健診会場でパネルや防災グッズ展示を実施。また、区役所1階ロビーや自治会館等で啓発できる機会をのがさず、配布を行う事とする。今後も新型コロナウイルス感染拡大防止を継続しながら、育児サークルや区民フェスタ等で、より多くの区民に啓発できるようにしていく。						